

事務事業マネジメントシート(平成29年度実績と平成30年度計画)

平成30年12月28日更新

事務事業名	小中学校児童生徒健診事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	2	福祉の健康		所属部	教育委員会事務局教育部	課長名 右田 純司
	施策	5	健康づくりの推進		所属課	学校教育課	担当者名 吉山 真貴子
	施策の柱	20	病気の早期発見		所属班	学務指導班	(内線) 5325
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	学校保安全健法	成果優先度評価結果 : ⑦
	一般	10	2	1	10378 他		根拠法令
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 29年度で終了 <input type="checkbox"/> 29年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)	

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	学校保健安全法第13条に定められている事業である。法に定められたものであり変化はない。児童生徒の疾病の予防、身体の安全の確保を図り、学校教育の円滑な実施を図るため、検尿、血圧、貧血、心電図検査等を実施する。
【業務の流れ】	健診機関との委託契約事務、委託料支払い事務、結果確認事務
【主な予算費目】	委託料
【意見や要望】	特になし

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 29年度実績(29年度に行った主な活動) (DO)	30年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
児童生徒の健康状態及び成長状況を把握するため健康診断を実施した。(検尿・血圧・貧血・心電図等)	児童生徒の健康状態及び成長状況を把握するため健康診断を実施する。(検尿・血圧・貧血・心電図等)
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ ア: 健診受診者児童数	実施実績に伴う見込み額の精査を行ったため減額
イ: 健診受診者生徒数	人
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
小中学校児童生徒	(単位)
	→ ア: 小学校児童数
	イ: 中学校生徒数
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
児童生徒の健康状態を把握し、疾病の予防、身体の安全の確保を図り、義務教育が支障なく受けられる状態にする	(単位)
	→ ア: 健康な体で学校に通える児童の割合
	イ: 健康な体で学校に通える生徒の割合
*③成果指標設定の理由と30年度目標値設定の根拠	
児童生徒の健康状態及び成長状況を把握するため。	
総トータルコスト	
全体計画	
~ 年度	
0	

(2) 各指標・総事業費の推移	単位	27年度	28年度	29年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込	
① 活動指標	ア 人	4,314	4,453	4,530	4,548	4,661	4,755	4,850	4,950	
	イ 人	1,878	1,912	1,990	1,968	2,025	2,065	2,110	2,155	
② 対象指標	ア 人	4,314	4,453	4,530	4,548	4,694	4,755	4,850	4,950	
	イ 人	1,878	1,912	1,990	1,968	1,984	2,065	2,110	2,155	
③ 成果指標	ア %	100	100	100	100	100	100	100	100	
	イ %	100	100	100	100	100	100	100	100	
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	人件費	一般財源	千円	7,153	7,329	7,936	7,436	7,842	8,043	8,243
		(A) 事業費計	千円	7,153	7,329	7,936	7,436	7,842	8,043	8,243
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	2	1	3	1	3	3	3
延べ業務時間	時間	412	6	300	6	300	300	300		
(B) 人件費計	千円	1,529	0	1,195	23	1,195	1,195	1,195		
トータルコスト(A)+(B)	千円	8,682	7,329	9,131	7,459	9,037	9,238	9,438		

事務事業名	小中学校児童生徒健診事業	所属部	教育委員会事務局教育部	所属課	学校教育課
-------	--------------	-----	-------------	-----	-------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は29年度の事後評価、ただし複数年度事業は29年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①29年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②30年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 児童生徒全員の受診が見込まれる <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 事業そのものは、児童生徒に健康診断を受けてもらう事業であり、成果の向上余地はない。ただし、現状を維持していくためには事業の継続が必要である。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 他に類似事業はない
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 健診項目等決まっており、事業費の削減余地はない
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 必要最低限の事務時間であり削減できない。委託するような業務時間でない
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 法に定められた事項のため、議論の余地はない。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 住民や地域・団体への移行はできない

3 評価結果の総括 (CHECK)

児童生徒の疾病の予防、身体の安全の確保を図り、学校教育の円滑な実施を図るため、検尿、血圧、貧血、心電図検査を実施することができた。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						